

[平成 22 年度参考となる技術]

[技術名] キク苗恒温処理による白さび病の初期防除と品種の感受性分類

[要約] 吊り下げ接種の結果から、‘はじめ’以下 17 品種が、比較的白さび病に対して罹病しにくい品種である。感受性の高い品種や、白さび病斑がみられる親株から採穂したキク挿し芽苗に 35℃3 日間の温度処理することで、白さび病の発生を抑制できる。

[キーワード] 白さび病、吊り下げ接種、温度処理

[担当] 福井園試・花き研究グループ

[連絡先] 0770-32-0009、電子メール enshi@pref.fukui.lg.jp

[背景・ねらい]

白さび病は、本県におけるキクの重要病害であうが、品種により感受性が異なり、挿し穂をとる親株がすでに罹病している場合がある。この場合、本圃での発生源となりやすいが、治療剤での完全な防除は困難である。そこで、白さび病にかかりにくい品種(耕種的防除)、挿し芽苗の温度処理(物理的防除)を検討し、白さび病の初期防除回数を削減する。

[技術の内容・特徴]

- 1 園試産の、白さび病冬孢子堆を形成した葉を用いた吊り下げ接種の結果から、‘はじめ’以下 17 品種が非感受性～抵抗性の白さび病にかかりにくい品種であると分類できる(図 1)。
- 2 活着したキク挿し芽苗を、恒温器等で 35℃3 日間の温度処理を行うことで、罹病葉の冬孢子堆の抑制や、持ち越しを抑えられる。(表 2)。

[技術の活用面・留意点]

- 1 本データは、美浜町産の白さび病による結果であり、他地区ではレースの差から結果が異なる可能性がある。
- 2 キク品種の、葉型や葉色、毛茸の有無等の外観特徴から、白さび病の感受性に差はみられない(データ略)。
- 3 恒温処理によるセル成型トレイ内の土や、処理施設が乾燥気味であると、葉やけや苗が傷みやすい。水稻育苗器を利用すると扱いやすいが、過度の温度上昇には気をつける必要がある。
- 4 苗の温度処理は、登録農薬が少ない黒さび病にも同様な効果がある。

[具体的データ]

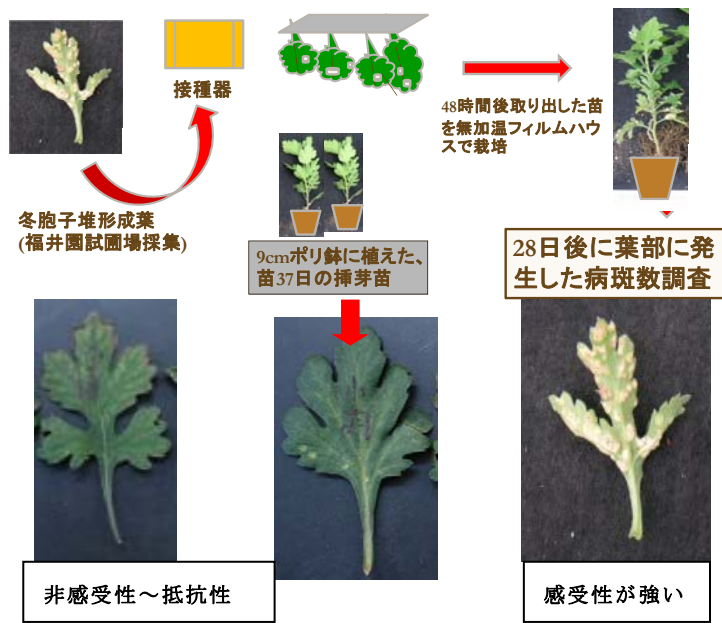


表1 コギク品種と白さび病感受性程度の比較

A～B(非感受性～抵抗)	C(感受性)	D(感受性が強い)
はじめ	レモン	とび丸
銀星	夏ひかり	山手白
みずとり	初穂	はなふさ
はくよう	翁丸	さやか
白禱	星の砂	くれない
小雨	お楽	
はくよう	シューペガサス	
夕霧	かなこ	
さきがけ	舞人	
花エクボ	はるか	
小紫	やよい	
恋唄	精かげろう	
めぐみ	花絵	
さなえ		
ひろみ		
花ひかり		
ゆかり		

図1 吊り下げ接種によるコギク品種の分類方法と結果

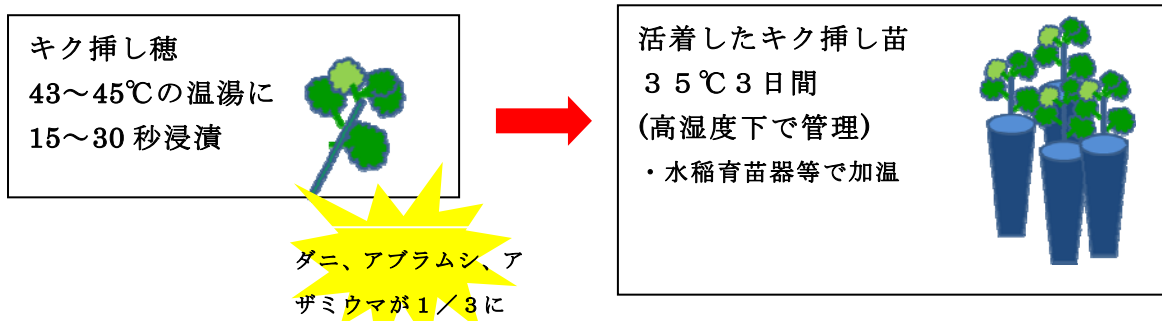


図2 白さび病にかかりにくい品種と恒温処理による白さび病防除



写真1 活着した挿芽苗を35℃3日間温度処理した後の生育

a: 温度処理前に発生していた冬孢子堆は変色して死滅、b: 冬孢子堆は持ち越さない、c: 黒さび病発生を抑制する

[その他]

研究課題名: 環境にやさしい減農薬キクの栽培技術の開発

研究期間: 2007～2009年度

研究担当者: 坂本浩、加茂良樹